

## 瓦礫もまだ50%が放置 月額5万円から6万円の落ち込み

(茨城地本)

2012年4月1日 今の一番の悩みは営業収入の落ち込み



茨城の復興は徐々に進んでいますが、完全には至ってはいません。常磐線が原発で岩城までで止まっています。組合員においては、家が傾いたり、屋根が壊れたりしました。

タクシー会社の被害は、日立駅近くにある新星タクシー会社の本社が崩壊し、石原営業所が浸水の被害にあいました。

また、笠間にある関東鉄道タクシー営業所が崩壊しました。

現在、新星タクシー本社は別の場所に建て直しして営業を再開しています。関東鉄道タクシー営業所は元の場所に建て直し営業を再開しています。瓦礫もようやく50%近くまで取り除かれています、まだ半分以上が残ったままです。

特に3月は移動の月で、普段なら忙しい時期に当たりますが、暇な状況が続いています。

観光もお客がなく、大洗も魚が捕れない状況です。タクシーだけではなくバス・トラックも同じ状況にあります。